

## 普及活動情勢報告（平成30年3月分）

安芸農業振興センター

### 安芸のナスの取り組みを知ってもらおう ～ナス品目別現地検討会～



仕立て方と炭酸ガス施用の  
組合せがおもしろいね

2月16日、産地・流通支援課が県内のナス生産者と関係機関を対象に安芸市内の炭酸ガス施用ほ場2ヶ所でナス品目別現地検討会を開催し、41人が出席しました。

農業改良普及課は、視察ほ場の耕種概要や環境制御技術と仕立て方法の組立実証試験の内容について説明しました。

参加者からは「炭酸ガス施用と仕立て方法の違いによる収量差はどう？」、「除湿機を導入して病気の減り具合はどんな感じ？」など環境制御への関心の高さが伺える意見が多数出て、活発な意見交換の場となりました。

農業改良普及課は、今後も実証ほの取り組みや成果を部会等で周知し、収量アップに繋げていきます。

### 今年はいつせん定しようか ～柚子部ユズ講座の開催～



どれくらい切っつかまんが？

2月18日、JA土佐あき柚子部がユズ講座を開催し、30人が参加しました。この講座は、平日に開催される各支部のせん定講習会に参加できない生産者にも、せん定技術を習得・向上してもらうことを目的に毎年開催されています。

今年は過去2年の豊作の反動や年末以降の寒波により樹勢の低下した樹が多く見られたため、農業改良普及課は、①せん定時期を遅らせる、②せん定量を樹勢に応じて調整する、の2点をポイントに指導しました。

生産者からは「せん定の時期は意識したことがなかった」などの声が聞かれ、せん定技術への理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して栽培指導を行い、生産者の栽培技術の向上を図ります。

### みんなで栽培力向上に向けて ～ピーマン品目別現地検討会～



説明を熱心に聞く参加者

2月20日、農業改良普及課は産地・流通支援課とともに県内のピーマン生産者を対象に芸西村のピーマンほ場で現地検討会、JA土佐あき芸西支所で勉強会を開催し、生産者・関係者ら約80人が出席しました。

農業改良普及課は、視察ほ場の耕種概要や環境制御技術と仕立て方法の組立実証試験の内容について説明し、勉強会ではアブラバチを用いたアブラムシ防除の取り組み事例について情報提供しました。

参加者からは「アブラムシ被害に困っているので、うちも取り組んでみたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、勉強会や現地検討会を通じて栽培技術の向上を図ります。

## 地元出身者が参加しやすい仕組みづくりとは？ ～講演会を開催～



地元出身者は地元へ帰る  
きっかけを待っている！

2月23日、農業改良普及課は集落営農塾を開催し、管内の組織化検討集落、集落営農組織及び関係機関の17人が参加しました。

まず、地域農業推進課から高知県における集落営農組織の状況について説明がありました。その後、島根県邑智郡邑南町の集落営農法人（農）ファーム布施の営農部長である松崎寿昌氏から、「（農）ファーム布施の取り組み～飲んで育む郷土愛～」として、「人材の確保・育成」をテーマに組織活動の状況をご講演いただきました。

研修参加者からは、「全戸加入の組織の作り方や集落のまとめ方の参考になった」、「地域の耕作放棄田や果樹を何とかよみがえらせた」と等の意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して集落営農塾を開催し、安芸地域での集落営農の組織化やステップアップを支援します。

## みんなで質問攻め ～芸東ピーマン・シシトウ部会視察研修～



アブラムシ対策も  
ちゃんとしてるね

2月28日、農業改良普及課室戸支所は、芸東ピーマン・シシトウ部会を対象に安芸・芸西地区で取り組みが始まった平畝栽培の視察研修を計画し、生産者3人が芸西村のピーマンほ場を視察しました。

平畝栽培を初めて見る参加者は、ほ場主の「いいことばかりで悪いことはひとつもない」という説明に、全員感嘆の声をあげていました。今回は平畝栽培に興味のあるキュウリ生産者1人も同行し、全員ではほ場主を質問攻めにしていました。

農業改良普及課室戸支所では、今後も新技術や先進事例を紹介し、部会活動が活発化するよう支援します。

## 蒸気消毒ってどんなの？ ～花卉部芸西支部勉強会～



なかなかでかいな!!

花卉部芸西支部の生産者が蒸気消毒に関心を示したことから、3月3日に花卉部芸西支部がJA土佐あき芸西支所で蒸気消毒の勉強会を開催し、部員3人が参加しました。

農業改良普及課は、まず蒸気消毒の効果や利点と欠点を説明し、蒸気消毒機取扱業者とともに使用方法等を指導しました。

生産者からは、経費や1日あたりの処理面積など様々な質問があり、「短時間で土壌消毒が終わるやったら、定植が早くできるやん」といった声が聞かれ、蒸気消毒への理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して病害虫防除対策等を指導し、花きの安定生産を目指します。

### 土佐のスイーツは米粉から ～6次産業化講習会～



「商品化に向けて取り組んでほしい」と話す真辺講師

3月6日、農業改良普及課は、北川村総合保健福祉センター調理室で6次産業化講習会を開催し、6次産業化実践者や志向者15人が参加しました。

米粉を活用したスイーツの実演講習のあと、講師の真辺氏から6次産業化に取り組むきっかけや地域食材を活用したレシピづくり等の現在の活動内容について講演していただきました。

参加者からは、「農家女性の身近な事例に勇気づけられた。これからも頑張っ活動が続けていきたい」、「もっとスイーツのコツを習いたい」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後も6次産業化を目指す組織の活動を支援していきます。

### 「環境制御」ってすごいね！！ ～若手トルコギキョウ生産者の環境制御勉強会～



何これ!?  
花デカ過ぎやろ!!

3月8日、農業改良普及課は安芸市と芸西村の若手トルコギキョウ生産者5人に対して、芸西村の炭酸ガス施用を実施しているほ場で環境制御勉強会を開催し、施用方法や効果について指導しました。

生産者からは、「炭酸ガスだけじゃなくて、温度管理や水管理も大事なやね」、「まずは自分のハウス内環境を把握するところから始めた方がよさそうやね」といった声が聞かれ、環境制御技術の導入への意識啓発ができました。

農業改良普及課は、今後も若手トルコギキョウ生産者の活動を支援し、担い手の育成とトルコギキョウ産地の発展を推進します。

### 今作を見て来作を考えよう！ ～花卉部芸西支部トルコ部会現地検討会～



春出荷が忙しくなるね～

3月8日、花卉部芸西支部トルコ部会がトルコギキョウほ場6カ所で現地検討会を開催し、部会員7人が参加しました。

農業改良普及課は、今作の冬季の生育状況を説明し、来作の冬季栽培管理の注意点と冬季栽培に適した品種について指導しました。

生産者からは、「昼間の換気は大事やけど、昼温が下がりすぎるのはいかな〜」、「来期の作付品種はこれにするわ」といった声が聞かれ、トルコギキョウの栽培管理への理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会や個別巡回を通じて栽培指導し、トルコギキョウ産地の発展を推進します。

### 安芸産園芸品のPR！ ～なす祭り in 金沢の開催～



出前授業の様子

3月10日、JA土佐あき消費拡大連絡協議会が「第16回なす祭り in 金沢」を石川県金沢市内の量販店で開催し、女性農業者や関係機関などの17人が主要品目のナスやピーマン、ユズなどの消費宣伝をしました。農業改良普及課は講習資料の作成や出前授業の準備等を支援しました。

なす祭りの出前授業では、金沢市在住の女性や栄養士等の参加者20人に対して、ナスなど特産品の料理講習や試食、“環境にやさしい農業”の講習を行いました。

参加者は、「ナスは漬物か揚げ物、焼きナスのイメージだったけど、こんなに料理方法があるとは知らなかった」とナス料理の豊富さに驚きながら舌鼓を打っていました。

農業改良普及課は、今後もナスなど特産品の消費拡大への取り組みを支援します。

### 環境制御技術で増収！ ～園芸研究会米ナス部会現地検討会・勉強会～



現地で環境制御技術の意見交換する生産者

3月19日、JA土佐あき園芸研究会米ナス部会が安芸市内のほ場2カ所で現地検討会、安芸集出荷場で勉強会を開催し、生産者10人が参加しました。「ほかのハウスも見たい」と夫婦で参加する生産者もいました。

農業改良普及課は、炭酸ガス施用効果の実証試験の途中経過を報告し、今後の栽培管理を指導しました。

生産者からは、「前年より収量が増えて環境制御の効果が出ている」、「栽培管理の変更点は？」などの意見や質問がありました。

農業改良普及課は、今後も部会活動などで環境制御技術や栽培管理の情報提供・指導を継続し、産地の生産量・品質向上を支援します。